

プレスリリース

2018年7月12日

報道関係各位

ジョスリン糖尿病センター
日本イーライリリー株式会社

ジョスリン糖尿病センター／日本イーライリリー 日本の糖尿病診療を担う糖尿病非専門医および看護師を対象とした教育プログラムを開発 － 2018年7月15日より本格的にプログラム提供を開始 －

日本イーライリリー株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:パトリック・ジョンソン、以下、日本イーライリリー)と、世界有数の糖尿病研究・診療機関であり米国のハーバード大学医学部付属のジョスリン糖尿病センターは、日本の糖尿病診療における質の向上とそれに伴う患者さんの血糖コントロールと予後の改善に貢献することを目的として、糖尿病診療に関わる糖尿病非専門医および看護師を対象とした教育プログラム「ジョスリン糖尿病診療ラーニングプログラム」を開発し、2018年7月15日よりワークショップならびにオンラインプログラムの提供を本格的に開始いたします。

日本における糖尿病患者数は増加傾向にあり、2017年には糖尿病が強く疑われる成人が日本で初めて1,000万人に上り、糖尿病予備群も含めると約2,000万人と推計されています^{※1}。糖尿病診療において主にプライマリケアを担当する糖尿病非専門医は、糖尿病患者さんの基本的診療において重要な役割を果たしている一方、様々な新薬の登場などにより糖尿病治療は複雑化しており、非専門医の糖尿病診療レベルの更なる向上が求められています。

(※1) 厚生労働省:平成28年国民健康・栄養調査(平成29年9月21日発表)

2015年に日本イーライリリーとジョスリン糖尿病センターは緊密に連携しながらこの新しい医学教育プログラムの開発を開始しました。このプログラムは日本の糖尿病患者さんのプライマリケアを主に担当する糖尿病非専門医および看護師の為にデザインされています。糖尿病診療における最新の治療プロトコル、薬剤および技術を習得する必要のある糖尿病非専門医と看護師は、このプログラムによって緊密な診療連携の実現と患者さん個々の病態に適した診療方針の確立、さらに糖尿病診療の質と治療アウトカムの向上を図ることができるようになります。このプログラムは、アドバイザー役として日本の糖尿病専門医の方々のご協力のもと、日本イーライリリーおよびジョスリン糖尿病センターが作成しました。

本プログラムの本格提供を前に昨年実施したパイロットプログラムでは、全てのワークショップ終了時に参加者19名(糖尿病非専門医13名、看護師6名)を対象に実施したアンケート(5段階回答方式)において、ワークショップ全体は「有益な時間の使い方であった」に対し参加者の12名が「強く同意する」、7名が「同意する」と回答し、「看護に役立つ内容であった」に対し参加者の13名が「強く同意する」、6名が「同意する」と回答しました。

本プログラムのアドバイザーであり昨年のパイロット・ワークショップで講師を務めた永寿総合病院糖尿病臨床研究センター長 渥美義仁先生は、「かかりつけ医による糖尿病診療が今後ますます不可欠になってくる中、医療従事者向けの生涯教育プログラムが提供されることは、糖尿病患者さんの健康向上に貢献する、期待できる取り組みです」と語っています。

ジョスリン糖尿病センターのチーフメディカルオフィサーであるロバート・ギャベイ博士は次のように述べています。「糖尿病の医学教育に関するこの革新的なプログラムは世界各地で高い評価を得ています。日本イーライリリーとの連携のもと、我々のこの教育プログラムが医療従事者に活用され日本中に普及していくこと、そして日本における糖尿病診療の質の向上に貢献することを期待しています。」

日本イーライリリー株式会社、研究開発本部糖尿病領域本部長の今岡丈士氏は次のように述べています。「この革新的なプログラムにより、プライマリケアの現場において糖尿病診療の質の改善を目指している先生方の一助になること、および多くの糖尿病患者さんのコントロールの改善に貢献できることを期待するとともに、この生涯教育の取組みを支援していることを誇りに思います。我々の責務は、糖尿病患者さんの健康を改善する取組みを支援することにあります。」

「ジョスリン糖尿病診療ラーニングプログラム」では、参加者が現行の糖尿病診療による患者さんの治療アウトカムをあらためて評価したり、治療アウトカムを改善するためにはどうしたら良いかを他の参加者とともに検討したり、患者さんのタイプによって異なるニーズの違いを明確にするなどのワークショップを行います。ワークショップ実施後、導き出された診療改善に向けてのヒントをそれぞれ持ち帰り、それを受けて改善した糖尿病診療による患者さんの治療アウトカムの改善状況をモニタリングしていきます。全プログラム修了者には、ハーバード大学ジョスリン糖尿病センターから修了証が授与されます。

日本イーライリリーとジョスリン糖尿病センターは、本プログラムの本格展開を通じて、日本の糖尿病診療における質の向上とそれによる糖尿病患者さんの血糖コントロールおよび予後の改善に貢献していきたいと考えております。

本プログラムの概要については以下をご確認下さい。

■プログラム概要

本プログラムは、2回のワークショップとオンラインラーニングの2本立てで構成されています。1回目のワークショップでは、プログラムの参加者がそれぞれの患者について匿名化されたデータを持ち寄り、全参加者の患者データの平均や分布と各自の患者データを比較することによって、それぞれの診療において改善の余地があるかどうか、それはどのような点かを探ります。見出された改善点については、糖尿病専門医の先生方によるファシリテーションのもと、具体的な改善方法について参加者同士でディスカッションを行います。その後、(同じ施設の医師と看護師が参加している場合はともに協力し合って)施設ごとの具体的な改善プランに落とし込み、ワークショップ終了後から各施設で実行に移していきます。1回目のワークショップ実施後半年以内に実施される2回目のワークショップでは、改善プランが実施されたかどうか、患者データが実際に改善されたかどうかを検討し、さらなる改善のための戦略を立てます。オンラインラーニングには、診断・治療に役立つコンテンツの動画講義や、糖尿病専門医へのインタビュー動画、ビデオクリップなどが用意されており、各ワークショップの前後に自由に自己学習をすることができるようになっています。なお、本プログラムは2018年7月以降、奈良県奈良市、北海道旭川市、愛知県東名古屋地区での開催が決定しており、以降全国でのプログラム展開を目指しています。詳細は下記アドレスまでお問い合わせください。

JPMAIL_Joslin_Lilly_Diabetes_Program@lilly.com

ジョスリン糖尿病センターについて

ジョスリン糖尿病センターは糖尿病の診療と研究における深い専門性で世界的に有名です。同センターは糖尿病の治療方法の探索および糖尿病患者さんが長く健康な生活を送れるようになることに専念しています。世界中で科学的探索を行い革新的な治療法を確立し普及させています。ジョスリン糖尿病センターは米国のハーバード大学医学部に付属する独立した非営利機関で、全米で11しかないアメリカ国立衛生研究所指定の糖尿病研究センターの一つです。

詳細については次のウェブサイトをご覧ください。www.joslin.org or [@joslindiabetes](https://twitter.com/joslindiabetes)

イーライリリー・アンド・カンパニーの糖尿病事業について

イーライリリー・アンド・カンパニーは1923年に世界で初めてインスリン製剤を開発して以来、糖尿病ケアの分野において常に世界をリードしてきました。現在も、糖尿病をもつ人々やケアを行う人々の様々なニーズに応えることで、この伝統を築いています。研究開発や事業提携、拡大し続ける幅広い医薬品ポートフォリオ、そして、医薬品からサポートプログラムをはじめとする実質的なソリューションを提供し続けることを通じて、世界中の糖尿病をもつ人々の生活の改善に努めます。詳細はウェブサイトをご覧ください。<http://www.lillydiabetes.com>

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。<http://www.lilly.co.jp>